

環境調査結果のお知らせ

平成25年11月26日午前10時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温17～20℃、塩分24～33、溶存酸素量6～8mg/lでした。
 透明度は2～7mで、有害種のデイクチオカ・スペキュルム及びケラチウム・フルカが少数確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温は16.6～19.7℃、塩分は23.6～33.4でした。前回調査時(H25.11.12)と比較して、水温は3～4℃低下、塩分は降雨の影響で表層が1低下していました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は6.1～7.9mg/lで、前回より1mg/l上昇していました。

プランクトン(表4・5)

透明度は1.8～6.9mでした。
 検鏡の結果、魚類に対して有害なデイクチオカ・スペキュルムが最高1cells/ml、ケラチウム・フルカが最高1cells/ml確認されました。その他、貝類の赤変化を引き起こす危険性のあるミリオネクターブラが最高13cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲む等して、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

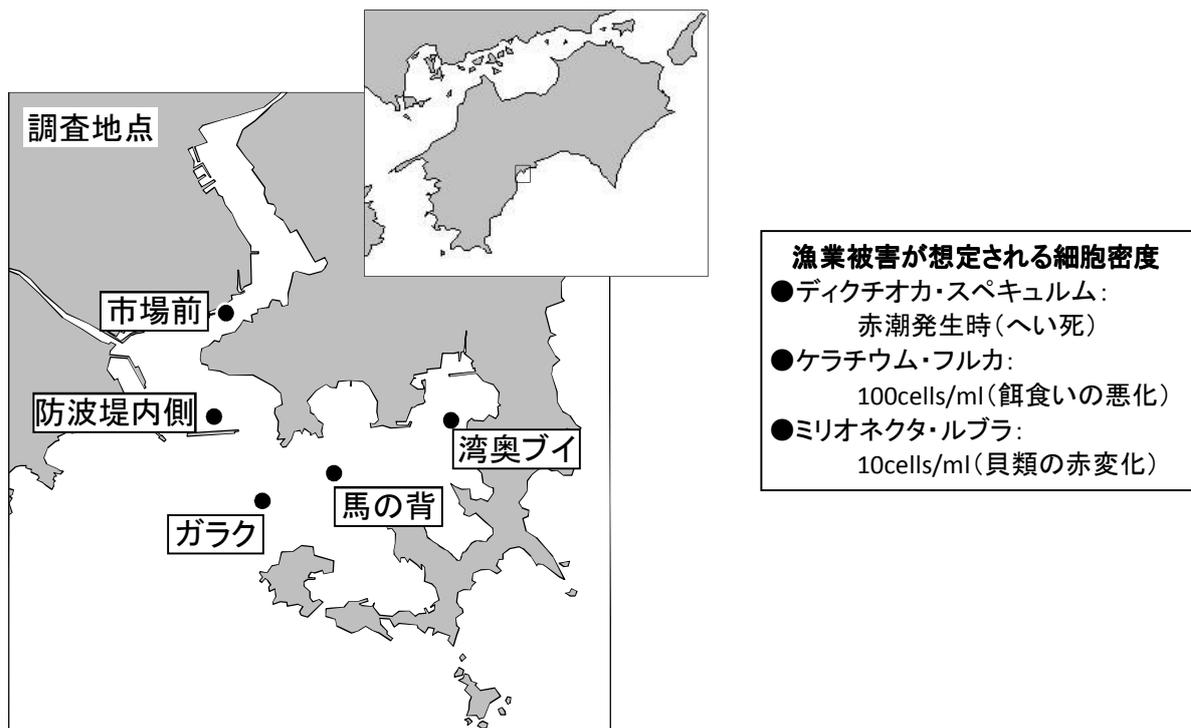


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H25.11.12)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	18.7	18.5	18.5	16.6	18.6	22.3	▲ 3.7	17.7
2m	18.7	18.7	19.0	18.8	18.8	22.3	▲ 3.5	18.6
5m	18.9	18.9	19.4	19.1	19.1	22.3	▲ 3.2	19.1
10m	18.8	19.3	19.6	19.2	19.2	22.3	▲ 3.1	-
B-1m	18.8	18.8	19.7	19.3	19.1	22.3	▲ 3.2	19.2

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H25.11.12)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	32.6	32.6	31.4	23.6	32.2	33.0	▲ 0.8	23.1
2m	32.7	32.8	32.8	31.6	32.7	33.0	▲ 0.3	30.0
5m	32.8	32.8	33.1	32.9	32.9	33.0	▲ 0.1	32.4
10m	32.9	33.1	33.2	33.2	33.1	33.0	0.1	-
B-1m	33.1	33.2	33.4	33.3	33.2	33.1	0.1	33.1

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H25.11.12)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	6.9	6.8	6.7	7.9	6.8	5.9	0.9	7.3
2m	6.8	6.5	6.8	6.8	6.7	5.7	1.0	6.8
5m	6.6	6.2	6.3	6.4	6.4	5.7	0.7	6.3
10m	6.4	6.5	6.5	6.4	6.5	5.6	0.9	-
B-1m	6.2	6.1	6.6	6.3	6.3	5.5	0.9	6.1

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.1	25.0	15.5	18.2	10.5
透明度	6.9	6.3	4.7	1.8	1.8
前回透明度	5.5	4.2	3.9	3.0	2.5

表5 プランクトン(cells/ml)

調査地点	水深	ディクチオカ・ スペキュラム	ケラチウム・ フルカ	ミリオネクタ・ ルブラ	アカシオ・ サンガイネア	ジャイロディニウム属 (ドミナンス、 スピラレ)	ポリクリコス・ コフオイディ	ケイ藻類
		湾奥ブイ	0m	0	1	13	0	5
	2m	1	1	1	2	0	0	180
	5m	0	0	3	0	4	0	60
馬の背	0m	1	0	1	0	4	0	20
	2m	1	0	2	0	1	2	70
	5m	0	0	2	0	0	0	280
ガラク	0m	0	0	0	0	2	0	110
	2m	0	0	3	1	0	0	100
	5m	0	0	1	0	0	0	40
津波防波堤内側	0m	0	0	7	0	2	0	0
	2m	0	0	1	0	0	0	0
	5m	0	0	0	0	2	0	0
市場前	0m	0	0	2	0	1	0	0
	2m	0	0	0	0	0	0	0
	5m	0	0	0	0	0	0	10